

豊島区教育委員会 教育長  
三田 一則  
み た かずのり



「子どもたちに伝えたい知の喜び」  
二〇一〇年を国民読書年とする国会決議が衆参両院で採択された。良書と出会い、知の喜びを知つて心の糧を得る、そんな学びがいや生き方を子どもたちに伝えていきたいものである。

本年2月、豊島区立池袋第三小学校の大澤暁人さんが『むしでさえない虫の話』かいこときめをしらべよう』というレポートを書き、「第12回図書館を使った「調べる」学習賞コンクール」文部科学大臣賞を受賞した。大澤さんの2年連続の受賞という快挙から、

知の喜びの大切さを痛感した。

親子で群馬県の養蚕農家を訪れた際もつてきた蚕を、自宅で飼うことがきっかけで調べ学習への誘いが始まった。池袋図書館に出かけて蚕の本を取り出し、図書館司書のアドバイスも得て、調べ学習は続いていた。飼育体験を続けながら、「蚕の餌は何だろう」「桑の葉を食べなくなったのはどうしてだろう」「繭の部屋をどう作つたらよいのだろう」と、次々に湧き起こる疑問を、解き明かしていって。「無視できない虫の話」は、疑問の連鎖

の解決過程そのものであった。大澤さんは、未知の扉を開く度に、知の喜びを体現したのである。

さて、変化の激しい時代こそ、自然や社会、人間や歴史に対する確かな見方、考え方、センスが求められている。知識基盤社会にあつて、学校図書館や地域図書館が時間や空間を越え、知の喜びを育む拠点であつてほしい。瀬戸内寂聴さんは、「朗読は自分の読書の喜びを、同時に人と共有する楽しさがある。千年前の「源氏物語」がそうであった。（中略）日記でも手記でも、手紙でもよい。書くことで自分を発見していく。読書の究極の恵

豊島区教育委員会教育長。昭和24年北海道生。昭和47北海道教育大学卒業後、公立小学校教諭、教頭、校長を経て、12年本区指導室長・教育センター所長、中央区立阪本小学校校長・同幼稚園長を退職し、21年1月現職に就任。趣味は史跡巡り・クラシックギター演奏

豊島区立中央図書館報



# と し ょ か ん つ う し ん 図 書 館 通 信

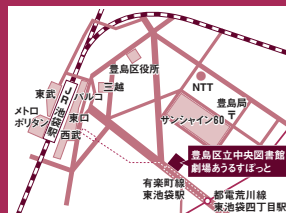
館 通 信

## トピックス

- 巻頭言「子どもたちに伝えたい知の喜び」三田一則・・・1ページ
- 新航路「曝書（ばくしよ）」・・・1ページ
- 生涯の一幕「日本再考 東北からササへの序章」加藤芳成・・・2ページ
- 区内6大学図書館の紹介「女子栄養大学」・・・3ページ
- お店探訪・豊島区伝統工芸・・・3ページ
- 明治女子学校百年・・・4ページ

第13号  
隔月刊  
2009

R100  
古地図を100%活用し読みやすいです



発行 ● 豊島区立中央図書館  
東京都豊島区東池袋四一五二  
ライオンビル四階 TEL 03-3484-1111  
電話 ● 03-3484-1111  
FAX ● 03-3484-1111  
ホームページ ● <http://www.library.toshima.tokyo.jp>  
発行日 ● 平成21年7月

## 新航路[12]

## 曝書（ばくしよ）

5月中旬の駒込図書館から始まった区立図書館の特別整理休館が、6月末の中央図書館をもって終了しました。休館の間、ご利用者の皆さまにはご迷惑をおかけしました。

「特別整理による休館の間、いったい図書館では何をやってるんだろう？」こう思われる方も多いと思います。実は、この休館中に図書館の蔵書データと現物の図書資料の突合せ作業を行っています。図書館員の中では、蔵書点検、曝書と呼ぶ者もいます。広辞苑によると曝書とは【書物の虫ばし。土用の晴天の日をえらんで行う。＜季語 夏＞】とあります。昔はきつと書物を1冊1冊外に出して天日干し、少しでも良好な保存状態を保つためにそれは大変な作業であつたろうと思われます。さすがに今は適正な空調により室内が保たれていますので天日干しすることはありませんが、蔵書データが電子化された今でも図書を1冊1冊点検していることに変わりはありません。中央図書館を例にとると20万冊を超える資料があるので、それなりに時間がかかります。また、休館に合わせて図書の移動や模様替え、施設点検等も行われます。

こうして行われた曝書ですが、様々なことがわかります。まず、不明になっている図書資料の冊数が判明します。ちなみに今回の中央図書館では344冊でした。これは全蔵書の0.14%にあたり、旧中央図書館時代と比較すると、非常に低い不明率です。ICタグが蔵書管理、不正持ち出し防止に役立っている証拠と言えます。しかし、不明本は限りなく0（ゼロ）に近づけなくてはなりません。皆さんの税金で購入している本ですから。

次に、図書を点検していると一部の利用者によると思われる書き込みや破損、汚損されたものが見つかります。様々な理由で破損などしてしまうと思いますが、図書への書き込み、故意の破損は絶対に禁止です。言語道断です。次の方が気持ちよく読めるよう大切に取扱いしてください。

曝書が終わるといよいよ夏です。愛書家の皆さんも家にある本の点検をしてみるのはいかがでしょう？天日干しまではなくても、いったいどのくらいの本があるのか調べてみるのも面白いかもしれません。

## Current & Encounter

「レニ・リーフエンシユタール  
という存在」  
豊島区図書館行政政策顧問

粕谷 一希

私は十歳のときに、ドイツの「民族の祭典」「美の祭典」というベルリン・オリンピックの記録映画を見た。池袋の駅近くの文化劇場という洋画専門の映画館だった。画面にはヒトラーも出てくるし、ナチス・ドイツの最盛時代の映画だった。しかし、ナチスの宣伝臭はまったくなく、私は吸いこまれるように感動した。その後、この作品をつづったのが女流監督であつたこと、彼女とヒトラーの関係が取沙汰されていたことなど、耳にしたことがある。今回顧されたステイヴン・バックの「レニ・リーフエンシユタールの嘘と真実」（清流出版）はこの問題を、七十年後に扱った記録である。記者は前号で取上げた「図書館」愛書家の楽園の野中邦子さんである。彼女には独特の勘があつて、次々に話題作を自由に選びとる才能があるらしい。

ベルリン・オリンピックを扱った「民族の祭典」や「美の祭典」が圧倒的評判を取つたのは、おそらく、人類の団体系の極限を描いてみせたことだと思ふ。それはフナテックなナチソナリズムとも全くちがう。私が最も忘れられないのは、マラソン競技で、日本代表として出ていた朝鮮の孫選手が優勝するまでを坦々と長時間描き切つてたことである。

ところで、戦後、東京オリンピックは一九六四年、才人の市川崑が監督に起用された。

市川崑は数々の話題作をつづつた人で、「野火」や「股旅」は私も忘れがたい。しかし、「東京オリンピック」は完全なる失敗作であつた。ベルリン・オリンピックを意識し過ぎたためであり、オリンピックに個人だけをしようとしたためである。東京オリンピックの再招致も結構だが、誰を起用して映像化するのか。石原都知事はじめ関係者は考えているのだろうか。七十年後にも、評価をめぐって議論はつづくのだから。



『日本再考 東北ルネサンスへの序章』  
(平成15年)  
編者 赤坂 憲雄  
発行 創刊堂

豊島区立中央図書館長  
加藤 芳成



## 生涯の一冊 (12)

### 「郷里を思う」

私の郷里は東北にある。冬でも温暖な東京の生活に慣れ、雪とたたかう郷里の人たちのことを忘れがちになっている自分に気づき、ふと寂しくなることがある。そんな時に出会ったのが『日本再考 東北ルネサンスへの序章』という本である。

この本には、「東北学」の提唱者である編者と七人の作家・学者による、東北からの視点で日本を問い直す七つの対話が収められている。

東北はこれまで「文化的に遅れた後進地域」というイメージが抱かれてきた。しかし、それは中央からの視点によるイメージであり、東北の人たちがどんな

暮らしをしてきたのか、どんな歴史を刻んできたのかをあらためて掘り起こしていく必要がある。この本は、そのことを私に考えさせ、これまで視野の外にあった郷里の歴史、民族や宗教などにも関心をひろげてくれた。

郷里も大きく変貌した。昔馴染みで亡くなった人も少なくない。それにより、失われた習俗や伝承なども少なくなっていく。子どもたちの遊び場でも増えた川が埋め立てられ、都会にあるようなオシャレな店も増えてきた。昔、普通の家庭料理であったものが家庭から消え、郷土料理店のメニューやお土産になった。それでも、昔と変わらず息づいているものがある。実家に帰ったら、おふくろの昔話に面倒がらずに付き合ってやろう、そんな気分になっている。

## 千早図書館が薦める 「健康のための本」



書名 『ランニング・スタート・ブック』  
著者名 ランニング・スタイル編集部/編  
金哲彦/監修  
出版社 樫(えい)出版社  
所蔵館 中央・目白・千早

これからランニングを始めようと思っている人にはシューズの選び方から。すでに始めている人にはトレーニング方法から栄養学まで。豊富な写真で誰でも楽しめる一冊となっています。さあ、皆さんLet'sランニング!



書名 『ジュニアダイエット』  
—自分のための栄養学入門—  
著者名 渡辺満利子  
出版社 岩波書店  
所蔵館 中央・千早

食事は私たちの体を作り、生きていくためのエネルギー源となるものです。この本は十代のみなさん向けに、食生活や栄養素についての正しい知識と健康的な食生活が身につくように書かれています。

一日三度の食事の具体的なメニューや体に無理なく計画的に減量する方法などが紹介されています。

この本をきっかけにあなたの食生活を見直してみませんか。

### 児童向け

書名 『けんこうだいいち』  
著者名 マンロー・リーフ/作 渡辺茂男/訳  
出版社 フェリシモ  
所蔵館 中央・駒込・巣鴨・上池袋・池袋・目白・千早



病気になった時、健康のありがたみがわかりますよね。この本は丈夫な体をつくるにはどうしたらいいのか、食べ物の好き嫌い・運動・睡眠・清潔になるなど、こどもの日常生活に必要なことがユーモアたっぷりの文章でえがかれています。

## ボランティア紹介

図書館でボランティアとして、また自主的に活動されている皆様をご紹介します。

### 池袋親子読書会

今回は、図書館や子どもスキップ(※)などで精力的に活動している「池袋親子読書会」の代表 佐藤澄子さんに話を伺いました。「池袋親子読書会」は、昭和47年に発足した豊島親子読書会が前身です。昭和61年、池袋図書館の開設を機に、名称を変えてから今年で23年を迎えました。会員は、多いときで親子合わせて50名程でしたが、現在は8名です。

主な活動は、中央図書館で開催するおはなし会や子どもスキップ池袋第三、池袋第二児童館での読み聞かせです。これからさらに活動の場を広げるために、幼稚園や子育てサークルなどでご要望があれば、積極的に向い出ていきますとのこと。

「時代の流れで、仕事やPTA活動などで忙しいお母さんが増え、子どもと一緒に参加するのが難しくなりつつありますが、是非とも親御

さんには、子どもに本の楽しさ伝え、本を好きになってもらう切掛けをつくってもらいたいです。」と、佐藤さんはおっしゃいます。

おはなし会や読み聞かせに参加していた子どもたちが、中学生になっても気軽に集まれる場を設け、子どもたちと本の楽しさについて語りたいながら、その成長を実感することが佐藤さんの願いです。

9月27日(日)午後2時から中央図書館児童コーナーで「池袋親子読書会」によるおはなし会を開催します。保護者の方も一緒に参加できますので、皆様の参加をお待ち申し上げます。

※子どもスキップとは、豊島区の小学校施設を活用して、児童が自主的に参加し、遊びを通して交流を深める場です。



## あうるすぽっとプロデュース

2部構成で繰る、舞踊の伝統と現在

9月8日(火)/9日(水)  
19時～

## 「三番叟」 ～SANBASO～

第一部「狂言三番叟」

野村万蔵 (能楽和泉流狂言方)

第二部「コンテンポラリー三番叟」

【構成・振付・出演】近藤良平 (コンドルズ主宰・振付家)

【出演】コンドルズ選抜

【職方】

笛：松田弘之 (能楽師森田流笛方)

小鼓：大倉源次郎 (能楽師大倉流小鼓方)

大鼓：亀井広忠 (能楽師島野流大鼓方) ほか

【チケット】

全席指定 (7月26日(日)より前売開始)

一般：5,500円

豊島区民割引 (在住・在勤・在学 要証明書) 4,700円



アンデルセンの旅の「道連れ」をもとにした、妻と冒険の音楽劇。  
「ぼくの優しいお姫さま、どこにいるんですか?」  
誓います。星も夜も、たとえ赤道まで歩かなければならなくても、きっとあなたを見つめます」

9月22日(火・祝) 16:30～  
23日(水・祝) 13:00～

## 「旅とあいつとお姫さま」

【原作】アンデルセン作「旅の道連れ」/ノルウェーの昔話「旅の仲間」

【脚本・演出】テレーサ・ルドヴィコ

【台本】佐藤信【美術】ルカ・ルトツァ

【出演】高田恵篤 KONTA 楠原電也 辻田暁 達笠恵祐

【チケット】

全席自由・日時指定 (7月26日(日)より前売開始)

大人(一般)3,000/豊島区民割引(在住・在勤・在学 要証明書)

2,500円/子ども(小学生～高校生)2,000円/未就学児童500円

おやこ(大人と子どものセット)4,000円



近藤良平・コンドルズ。池袋の街で、大盆踊り大会開催!!

8月23日(日) 17:30～

## 「にゅ～盆踊り」 大会

【会場】池袋西口公園

(東京芸術劇場前)

予約不要・参加無料・ぶらっとあそびにきてください。

『サラリーマン体操』『こんどうさんちのたいそう』などの振付・出演でお茶の間でも人気のダンサー・振付家の近藤良平さん(豊島区在住)が、オリジナル盆踊り「にゅ～盆踊り」をひっさげて、大盆踊り大会を開催。この盆踊り大会は事前に豊島区各地6会場でワークショップを行い、そのワークショップで盆踊りを会得した約180人の盆踊りリーダーとともに、夏の池袋を盛り上げる一大プロジェクト。近藤さんならではの遊び心満載ユニークなふりつけの「にゅ～盆踊り」。当日は子どもからおとなまでだれでもわらってどって楽しめる企画が満載。近藤さんと一緒に踊って踊って池袋の街をジャックしちゃいましょう。

チケット取扱 あうるすぽっとチケットコール  
03-5391-0516(10:00-19:00/3階事務室にて販売/郵送可)  
会場・お問合せ あうるすぽっと  
03-5391-0751 <http://www.owlspot.jp>  
(有楽町線「東池袋駅」6・7番出口直結・中央図書館のビル2・3階)



日本の伝統的な表現形態を継承する「野村万蔵」が舞う「狂言三番叟」と、新しいダンスの形態を創造し続ける「近藤良平(コンドルズ)」が舞う「コンテンポラリー三番叟」を同時上演。日本における舞踊の現在と未来を見つめます。演奏は一部二部ともに、当代一流の能楽囃子方が奏でます。全く同じ空間、全く同じ演奏から生まれる、限りなくシンプルな舞台の妙をお楽しみください。

夢に見た女の子を探して旅に出た少年と、どこまでも一緒にいてくれる不思議なあいつ。やがて、少年は立派なお城にたどりつき、夢の中のおひめさまに出会います。ところがなんと、そのお姫さまは…。子どもたちのために世界各国で美しく幻想的な作品を作り続けているイタリアの演出家「テレーサ・ルドヴィコ」が歌とダンスを交えて繰る、子どもおとなも、ご家族みなでたのしめる新しい音楽劇。



## 区内6大学図書館の紹介「女子栄養大学」編

女子栄養大学は、日本の現代栄養学の礎を築いた香川昇三・綾夫妻により1933年(昭和8年)に設立された家庭食養研究会が前身です。かつて伊達政宗が旧仙台藩の下屋敷を置いたこの駒込の地で76年目を迎えました。駒込キャンパスには、栄養学部二部(夜間)と短期大学部、併設の香川栄養専門学校があります。大学図書館は、食育の大切さが叫ばれる今、有能な栄養士など「食」のスペシャリスト養成のため、栄養学・調理学を中心とした資料を収集し、多くの学生・研究者の調査・研究、学習の場として活用されています。

### 特色

- 雑誌「栄養と料理」のデジタルアーカイブス(昭和10年創刊号から昭和63年まで)をインターネット上に公開しています。
- 国連の専門機関であるFAO(国連食糧農業機関)から出版されたレポート、会議録、統計書などの資料があります。

### 蔵書数と特徴

- 女子栄養大学(駒込キャンパス)図書館は、約3万9千冊の図書、約170種の雑誌、約1,100点の視聴覚資料があります。
- 栄養学、食品学、基礎医学、調理学、食文化、食育等関連分野を中心とした資料が充実しています。



### 利用方法

- 調査・研究を目的とする豊島区、北区、文京区在住の方が図書館の利用(資料の閲覧、複写、IT端末及びAVブースの使用)を希望される場合は、事前連絡の上、住所を証明できるもの(健康保険証、運転免許証など)を提示し、お申込みいただけます。また、利用は会員制のため、初会費として年間2,000円、更新時は1,000円が必要です。

### 図書館PR

- 学生が図書館や図書への関心を高め、親しむことを目的に、「学生図書委員会活動」として書店での選書ツアーや学外の施設見学ツアーを企画・実施しています。
- 選書ツアーで購入した推薦図書や教員の推薦図書コーナーを設け好評を博しています。

### 女子栄養大学(駒込キャンパス)図書館

#### (女子栄養大学短期大学部図書館)

- 住所: 豊島区駒込3-24-3
- 電話番号: 03-3576-2130
- URL: <http://www.eiyo.ac.jp/library/>
- 交通案内: JR山手線「駒込駅」北口より徒歩3分  
東京メトロ南北線「駒込駅」4、5番出口より徒歩3分



駒込キャンパス 正面入口



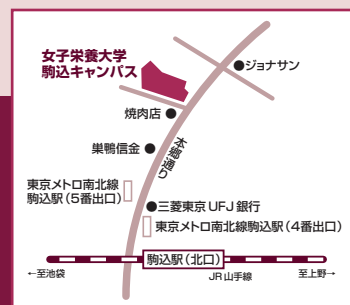
明治38年発行の村井玄斎著「食道楽」春の巻、夏の巻、秋の巻、冬の巻の4冊(いずれも女子栄養大学(駒込キャンパス)図書館所蔵)



図書館入口  
(1号館2階)



学生図書委員会活動による  
推薦図書コーナー



## 豊島区伝統工芸

豊島区伝統工芸保存会会員の皆様をご紹介します。

### 東京手描き友禅 大久保 紀保さん



「趣味はものづくり。」という大久保さんは、毎年、故郷の新潟の冬、雪の中幼い兄と妹が仲良く遊ぶ情景を思い浮かべ、版画で丁寧に色付けた年賀状を25年間作成し続けている。毎年この年賀状を楽しみにしている方も多く聞く。長い取材の間、いろいろな話を聞きながら話していただいた大久保さんの心の色は、作品同様、柔らかく、優しい色だった。

※1 真糊とは、もち米から作った自然の糊

※2 飯工とは、総柄の場合、模様付けの前に、白生地を着物の形に仮縫いすること

子供の頃から絵が好きで、ものをつくる仕事をしたいという想いで昭和31年、竹田耕人師に入門し、以来13年間修行された。修行当時、師匠から、「使う色で人間の本质が分かる。色は人なり。」という言葉聞き、色の大切さを教わった。長い修行時代に卓越した技術で仕事に関わる方々との信頼関係を築き、昭和44年、満を持して独立した。

大久保さんの作品は、真糊(※1)を使った昔ながらの手法が特徴である。着る人を引き立たせるための着物、柔らかく、優しい日本人の美しさを表現することを心掛けていた。製作手順は、飯工(※2)された生地にアオバナやユズハシの花の汁で下絵を描き、下絵どおりに糊を置く。次に、海草ふりで作った液を布に引く「地入」という作業を行うことで防戦の役目を果たす。その後、筆・刷毛などで友禅を施す。「自分が好きで入った世界だから、仕事での苦労はあるが辛さは感じないね。手描き友禅は、自分の思うままに表現ができる良さがある。思い通りの作品ができたときは本当にうれしね。」とおっしゃる。仕事の傍ら、平成元年から18年間、学校からの依頼で区立小学校の子どもたちに友禅染の体験授業を行っている。また、平成17年からは、区の伝統工芸教室の講師として、区民に友禅の良さを伝えている。



### ◆色は人なり

都電荒川線の面影橋駅から神田川を渡り、川沿いを歩くと、ほど歩いた静かな住宅街に、東京手描き友禅 大久保紀保さんの工房がある。

## お店探訪 ～ぽえむ 池袋店～

オーナー 伊藤 利夫さん



店の名は、「ぽえむ」で、お客様からは「poem(詩)」か、と聞かれることが多いのですが、この店の名は愛媛県松山に伝わる名菓「母夢夢(ぽえむ)」にちなむものです。この名ポエム店を始めた方が、土佐の出身の山内さんでした。何でもあの山内家の血筋の方とつながっています。この方のコーヒー店経営の方針といえますか、考え方に魅かれて、私もチェーン店に加わったわけです。

その経営方針というのは「真心」です。居心地のいい雰囲気についで、香り高いコーヒーを楽しむ。最高の豆を選び、自分で焙煎する。お客様のくつろぎを満たすことに真心をかたむける。これが私どもの店のありようです。

店は純粋にコーヒーだけで、あとは手作りのケーキ。店のお客さまに好評をいただいております。ぜひお試しください。

池袋駅西口を出て立教大学に向かうと、西池袋公園があり、その緑を前にしたところに店があります(豊島区西池袋3-22-5)。杉並からここに移って来たのは、西口再開発のときで、それからもう20年以上もたちました。駅に近いので、緑の公園を前にして、街の喧騒のない落ち着いたところです。

図書館で詩集を借りて、ここでゆっくり読んでいただけたら、「ぽえむ」の意味が「詩」の意味に転化するのを実感されることとしよう。お出かけください。

### 「真心」のサービス

店の名は、「ぽえむ」で、お客様からは「poem(詩)」か、と聞かれることが多いのですが、この店の名は愛媛県松山に伝わる名菓「母夢夢(ぽえむ)」にちなむものです。この名ポエム店を始めた方が、土佐の出身の山内さんでした。何でもあの山内家の血筋の方とつながっています。この方のコーヒー店経営の方針といえますか、考え方に魅かれて、私もチェーン店に加わったわけです。

その経営方針というのは「真心」です。居心地のいい雰囲気についで、香り高いコーヒーを楽しむ。最高の豆を選び、自分で焙煎する。お客様のくつろぎを満たすことに真心をかたむける。これが私どもの店のありようです。

店は純粋にコーヒーだけで、あとは手作りのケーキ。店のお客さまに好評をいただいております。ぜひお試しください。

池袋駅西口を出て立教大学に向かうと、西池袋公園があり、その緑を前にしたところに店があります(豊島区西池袋3-22-5)。杉並からここに移って来たのは、西口再開発のときで、それからもう20年以上もたちました。駅に近いので、緑の公園を前にして、街の喧騒のない落ち着いたところです。

図書館で詩集を借りて、ここでゆっくり読んでいただけたら、「ぽえむ」の意味が「詩」の意味に転化するのを実感されることとしよう。お出かけください。

# 明治女学校百年

伊藤 榮洪

島崎藤村のお孫さん

「島崎藤村の孫です」と、本多慶子さんはそう自己紹介をされた。彼女の語られたことで伊藤整の『日本文壇史』という著作の、街路に踏み入ったような興奮があった。

藤村（1872～1943）は、明治学院を出て明治女学校の英語科教師として就職した。木村熊二（明治女学校創立者）が牧師をしていた教会で受洗したことがつながりだった。学校には彼の尊敬する北村透谷があり、雑誌『文学界』が発行されて、若い彼らの夢が満ちていた。藤村の『春』、『桜の実の熟する時』はこの間を描いたものである。

そして教え子に佐藤輔子<sup>いひなすけ</sup>がいた。藤村は彼女を愛したが、彼女には親の決めた許嫁としての道を歩まざるを得なかった。失意の悲痛を抱いて藤村は放浪の旅に出る。『小諸なる古城のほとり』、『椰子の実』などの詩篇

はその流浪の悲しみをうたう。一度は復職するが、心の空白は埋めきれない。そんな藤村に卒業生の秦冬（冬子）との縁を取りもったのは、校長の巖本善治だった。その冬の寒家から金を借りて出版したのは『破戒』である。

藤村と冬との間には3男4女が生まれた。本多慶子さんは、3男の霧助の子になる。実母は定。2人は性格の違いで離婚することになり、慶子さんは父親の手許に残されたが、男手で育てられず、養子に出される。この養親夫婦はとてもいい人で、慶子さんはそんな事情を全く知らないまま幸福に育っていった。自分が養子であることを知ったのは中学生のときだったが、母親のことは全くわからないうえに、実母は終戦後の混乱期に必死に娘の慶子を探したが当時は「尋ね人」は山ほどあつてめぐりあうこともなかった。慶子さんが出版社に就職して、小山書店の社長と知

り合つて、彼が手を尽くして実母を尋ねあててくれた。連絡がついて実母の実家へ行ったときには、身内の者が集つてきて、みんな泣いた。実母はすでに亡くなつて

実母の実家は、青森県弘前屈指の豪農の武田家で、屋号は金木屋といつた。明治天皇巡幸の折にお泊りになったというほどの家だ。実母の父は、同じ弘前の木造の豪農松木家から武田家に養子になった人で、彼は松木家の6男、その二人上の4男の兄は津島家に養子になっていた。この人の子が津島修治、即ち太宰治である。太宰とは又従妹の関係になる。

このお話をうかがって、直接的に明治女学校に関係はないが、明治女学校が結ぶ「人間連環」の不思議さにうたれたことだった。（なお、『冬の家』の著者、森本貞子さんも記念展に来られている。）〔文中敬称略〕

隔月で発行していた「図書館通信」は、次号第14号（10月発行予定）より季刊（年4回・4月、7月、10月、1月）に変更します。季刊発行で、より充実した内容にリニューアルいたしますので、皆様のご理解をお願い申し上げます。

図書館からのお知らせ

『図書館通信』の発行が季刊になります

## 図書館イベント情報

各図書館の連絡先 □駒込図書館 3940-5751 □上池袋図書館 3940-1779 □目白図書館 3950-7121 □中央図書館 3983-7861 □巣鴨図書館 3910-3608 □池袋図書館 3985-7981 □千早図書館 3955-8361

### ◆児童・あかちゃんおはなし会、図書館平和普及事業

毎週、おはなし会を開催し本の読み聞かせなどイベントを行っています。遊びに来てくださいね。

| 主催／会場                          | おはなし会開催日       |                 | スペシャルイベント                                                                                                    |                                                                                                                                              |                                                                           | “平和について考えよう”～図書館 平和普及事業のご案内～<br>「平和」をテーマとした図書の展示、映画会などを開催します。 |                                                                       |
|--------------------------------|----------------|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
|                                | 幼児・小学生         | あかちゃん           | 7月                                                                                                           | 8月                                                                                                                                           | 9月                                                                        | 実施日時・場所                                                       | 行事名・内容                                                                |
| 中央図書館<br>児童コーナー                | 日曜日<br>午後2時    | 最終日曜日<br>午前11時  | ★26日・虹のポケットによるおはなし会<br>午後2時                                                                                  | ★2日・夏休みこうさく会 午後2時<br>★23日・夏休み映画会 午後2時                                                                                                        | ★27日・池袋親子読書会によるおはなし会<br>午後2時                                              | 7/25(土)～8/27(木)<br>児童コーナー                                     | 平和について考えよう<br>児童書展示                                                   |
| 駒込図書館<br>(駒込地域文化創造館)           | 土曜日<br>午後3時    | —               | ★25日・こどもえいがかい 午後3時<br>「一休さん」(11分)<br>「10匹のこねる」(21分)                                                          | ★1日・こうさくかい 午後3時<br>★8日・こうさくかい 午後3時<br>★22日・こうさくかい 午後3時                                                                                       |                                                                           | 7/25(土)～8/27(木)<br>児童室(予定)                                    | なぜあそぶの？<br>～みんなで考える平和～<br>一般書・児童書合同展示                                 |
| 巣鴨図書館<br>地下会議室                 | 水曜日<br>午後3時    | 最終水曜日<br>午前11時  | ★1日・ほんのじかん セtasスペシャル<br>午後3時<br>★22日・ほんのじかん スライド<br>午後3時<br>★29日・ほんのじかん 工作(プラ板)<br>午後3時                      | ★5日・ほんのじかん 工作(スライム)<br>午後3時<br>★12日・ほんのじかん こわいおはなしスペシャル<br>午後3時<br>★19日・ほんのじかん 夏休み1日図書館員<br>午後3時<br>★26日・すまもこどもえいがかい 午後3時<br>「ふしぎないじ」(18分)   | ★9日・ほんのじかん パネルシアター<br>午後3時<br>★30日・ほんのじかん スライド<br>午後3時                    | 7/25(土)～8/27(木)<br>特集コーナー                                     | みんなで考える平和<br>一般書・児童書合同展示                                              |
| 上池袋図書館<br>おはなしのへや<br>(※は地下ホール) | 水曜日<br>午後3時    | 最終水曜日<br>午前11時※ | ★1日・さくらんぼおはなしかい<br>～たなばたスペシャル～ 午後3時<br>★29日・さくらんぼえいがかい<br>午後3時(※)<br>「青鬼ものがたり」(23分)<br>「だるまちゃんとかみなりちゃん」(12分) | ★5日・さくらんぼこうさくかい 午後3時(※)<br>★19日・さくらんぼおはなしかい 午後3時(※)<br>～こわいおはなしスペシャル～<br>★26日・さくらんぼえいがかい 午後3時(※)<br>「怪談一芳ものがたり」(24分)<br>「ミッキーマウスのおぼけたいじ」(9分) | ★30日・さくらんぼえいがかい<br>午後3時(※)<br>「オバケちゃん」(23分)<br>「ミッキーマウスのキャンピングカー」<br>(8分) | ①8/12(水)午後3時<br>地下ホール<br>②7/25(土)～8/27(木)                     | 平和について考えよう<br>①映画会「はとよろしまの空を」(21分)、「ちいちゃんのかげおくり」(18分)<br>②一般書・児童書合同展示 |
| 池袋図書館<br>ワークルーム                | 土曜日<br>午後2時    | —               | ★25日・たんぼえいがかい 午後2時<br>「3丁目物語・夏 タマが生まれた時の話」<br>(25分)                                                          | ★22日・たんぼえいがかい 午後2時<br>「いたずらあまんじゃく」(23分)                                                                                                      | ★26日・たんぼえいがかい 午後2時<br>「あんじゅとすしおう」(31分)                                    | 7/25(土)～8/27(木)<br>1階特集コーナー                                   | 平和について考えよう<br>一般書・児童書合同展示                                             |
| 目白図書館<br>地下区民集會室               | 水曜日<br>午後3時    | 第1水曜日<br>午前11時  | ★22日・めじろこどもシアター<br>「うかれバイオリン」(20分)                                                                           | ★26日・かきくこうさくかい 午後3時<br>「まわれ！ひゅんぴゅんごま」                                                                                                        | ★23日・めじろこどもシアター 午後3時<br>「3丁目物語・秋おまつりの夜」(25分)                              | ①8/12(水)午後3時<br>児童室特集コーナー<br>②7/25(土)～8/27(木)                 | 平和について考えよう<br>①おはなし会<br>②児童書展示                                        |
| 千早図書館<br>視聴覚室                  | 水曜日<br>午後3時30分 | 水曜日<br>午前10時30分 | ★29日・夏休みスペシャルおはなし会<br>午後3時30分                                                                                |                                                                                                                                              |                                                                           | ①8/12(水)午後3時30分<br>視聴覚室<br>②7/25(土)～8/27(木)                   | 戦争を知ろう<br>①おはなし会<br>②児童書展示                                            |

日程・会場等が変更になることがあります。事前にお問合せください。

### ◆千早進歩自由夢

申込不要。当日、千早図書館へ直接お越しください。 ※当日先着40名、参加費無料

日時 平成21年9月19日(土) 講演内容 1.斎藤隆介の作品を朗読  
午後1時半開場 2.ロシアの子供達にも読まれている「三つ」翻訳者(ガリーナ・  
午後2時開演 ロンスカヤ)との交流について  
会場 千早図書館 3.満平二郎を偲んで(今年亡くなる)隆介との思い出  
2階視聴覚室 「ペロ出しチョンマ」や「モチモチの木」の著者、斎藤隆介氏を伯父にも  
講演 「伯父・斎藤隆介を語る」 つ斎藤みどり氏が絵本の朗読と思い出を語ってくれます。  
講師 斎藤 みどり氏 皆様の越しをお待ちしております。ふるってご参加ください。

### ◆千早進歩自由夢・史跡散歩「新宿落合文士村を歩く」

申込不要。当日、集合場所に直接お越しください。

日時 平成21年10月17日(土) 午後1時半に西武新宿線 中井駅改札集合  
会場 林芙美子記念館 午後2時～3時  
林芙美子記念館のガイドボランティアさんに館内案内と中井駅近辺の文士村コースを説明していただき、その後、自由に散策していただく予定です。  
\*参加費は掛かりませんが、交通費・入館料150円  
歴史や落合文士村の作家に興味のある方は、ふるってご参加ください。

## 編集後記

中央図書館は、平成19年7月の開館以来入館者数が200万人を突破しました。これもひとえに中央図書館を愛してくださる皆さまのおかげと感謝しております。今後とも、よりよくお願いいたします。(き)

## 開館時間

中央図書館  
平日 午前10時～午後10時  
土日祝 午前10時～午後6時

駒込・巣鴨・上池袋・池袋・  
目白・千早図書館  
平日 午前9時～午後7時  
土日祝 午前9時～午後5時

雑司が谷図書貸出コーナー  
平日 午前10時～午後7時  
土日祝 午前10時～午後5時

○は土日祝  
■は休館日

7月

8月

9月

| 中央図書館 |    |    |    |    |    |    |
|-------|----|----|----|----|----|----|
| 日     | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
| ⑤     | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | ⑪  |
| 12    | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19    | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26    | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |    |

| 駒込・巣鴨・上池袋・池袋・目白・千早図書館 |    |    |    |    |    |    |
|-----------------------|----|----|----|----|----|----|
| 日                     | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
| ⑤                     | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | ⑪  |
| 12                    | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19                    | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26                    | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |    |

| 雑司が谷図書貸出コーナー |    |    |    |    |    |    |
|--------------|----|----|----|----|----|----|
| 日            | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
| ⑤            | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | ⑪  |
| 12           | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19           | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26           | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |    |

## 図書館カレンダー